

## Press Release

報道関係各位

### ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 2016 年の ETF と投資の見通しを発表

投資家は「低水準かつ緩慢」なグローバル経済の成長に備えるべきでは

**【2016 年 2 月 10 日、東京】** 米ステート・ストリート・コーポレーション (NYSE: STT) の資産運用部門であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ (以下、「SSGA」) は、2016 年の ETF と投資の見通しを発表し、低インフレと概して控えめな金融政策に伴い、グローバル経済の成長が「低水準かつ緩慢」に留まることへの備えの必要性を述べています。また 2016 年には中国での経済減速と市場混乱、米国での利益成長率の大幅な減速、米国大統領選挙、ユーロ圏での債務問題の再発、および中東での地政学的緊張の高まりを含め、さまざまな要因によって市場のボラティリティが高まる恐れがあることを警告しました。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の証券営業部長を務めるディビット A. コリンズは、次のように述べています。「弊社は成長が減速したものの回復基調をたどると考えていますが、投資家は幅広く株式市場に投資するのではなく、地域・セクター・産業を慎重に選択する必要があります。株式に関してはユーロ圏と日本全般に加え、米国の金融と消費関連セクターなど、マクロ経済の状況から恩恵を受ける成長分野が望ましいと思われれます。」

特に日本では、安倍首相が株主へのリターンと企業業績の改善を強調していることにより、日本企業の間では株主資本利益率 (ROE) が重視されています。一般には株価収益率が低い企業を選出することが、その地域市場が反騰したときに利益を得るための手段の一つとなります。

コリンズは続けて、次のように述べています。「債券投資においては、利回りの低い国債に加え、起こりうる金利上昇に対して防御策が求められていることにより、高利回り・シニアローン・転換社債などのセクターへの投資を検討すべきかもしれません。SSGA としては、そのような信用リスクに敏感なセクターと金利を組み合わせた、バランスの取れたアプローチを推奨しています。」

#### SSGA の 2016 年の見通し

##### 米国のセクターと産業

SSGA は収益力や金利上昇のような、米国経済やマクロ環境のファンダメンタルズのトレンドから恩恵を受けるセクターと産業分野が選好されると考えています。回復する消費と金利上昇により、消費者関連と金融セクターの売上と利益が引き続き押し上げられると考えています。また高収益と売上成長を示す市場セグメントへの投資比重を拡大したい投資家には、ヘルスケアと IT セクターが推奨されると述べています。

米国の業界セクターと産業のETFについてSSGAは以下を例にあげています。

銘柄名	銘柄コード
ヘルスケア・セレクト・セクター SPDR® ファンド	XLV
テクノロジー・セレクト・セクター SPDR® ファンド	XLK

### 米国外株式

米国外ではマクロ経済が追い風となる成長分野が選好されると考えています。ユーロ圏は欧州中銀による刺激策が続いていること、ユーロへの引き下げ圧力、貸出条件の改善、および極めて低いかマイナスの債券利回りのために投資家が株式に利回りを求めることを理由に、魅力的であると考えています。

最近の低迷にもかかわらず、新興国市場ではバランスシートの健全化を中心とした企業がバナンス改善のための改革、および経済成長のためのテコ入れ策の実行により、状況が変わりつつあることが見込まれます。そのため、投資の一定部分を新興国市場に割り当てる価値があると我々は考えています。これらの施策がすでに行われている企業を対象としたスマートベータ投資のアプローチは、新興国市場投資に伴うボラティリティを引き下げ、また市場総額ベースのポートフォリオに代わる魅力ある代替手段となり得ます。

### 債券

SSGAは今日の多様化した債券ポートフォリオには、米財務省証券・社債、および質の高いストラクチャード債の単純な組み合わせよりも、優れた戦略が求められると考えています。低水準のデュレーションにおいても更なるリターンを求め、より高い水準の信用リスクも許容できる場合にはシニアローン・高利回りの社債・転換社債が推奨されると述べています。

債券に関しては以下を例に挙げています。

銘柄名	銘柄コード
SPDR® ブラックストーン/GSO シニアローン ETF	SRLN
SPDR® バークレイズ・ハイ・イールド債券 ETF	JNK
SPDR® バークレイズ・コンバーチブル債券 ETF	CWB

ETF投資の見通しの詳細については [www.spdrs.jp](http://www.spdrs.jp) からレポートをダウンロードしてご覧ください。

### ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(SSGA)について

約40年にわたり、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(以下「SSGA」)は、お客様とのお客様を頼る多くの方々に対して財務面でご支援させて頂くことに強い決意で臨んで参りました。SSGAは、世界でも最大級で最も高度な機関投資家や金融法人のパートナーとして、インデックス運用からアクティブ運用にまで至る、厳密かつリサーチ主導の投資プロセスを通して、パートナーの目標達成のお手伝いをいたします。運用資産残高が数兆ドル\*に及ぶ当社は、そのスケールとグローバル

な組織展開により、あらゆる市場、地域、資産クラスへのアクセスはもとより、考え抜かれた考察と革新的なソリューションをお客様にお届けいたします。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズはステート・ストリート・コーポレーションの資産運用部門です。

\* 2015年12月31日現在の運用資産残高は2兆2,400億ドルです。この運用資産残高には、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズの関連会社であり、販売代理店であるステート・ストリート・グローバル・マーケティング LLC の運用資産残高約220億ドル(2015年12月31日現在)が含まれています。

当プレスリリースに含まれる情報は有価証券の取引の勧誘を目的としたものではありません。

情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法およびその他日本の法律に基づく開示資料ではありません。

本資料は、ステート・ストリートおよびその関連会社等が作成し提供しております。本資料は各種の信頼できると考えられる情報・データに基づき作成しておりますが、弊社はその正確性・完全性を保証するものではありません。こうした情報は不完全であるか、要約されている場合があります。本資料の意見は全てステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズの判断で構成されており、事前に通知することなく変更される可能性があります。本資料は、投資の勧誘等を目的とするものではありません。本資料には、日本国内での募集の取扱等に係る金融庁への届出等がされていない海外ETFに関する情報・データも含まれています。

#### <投資にかかるリスクについて>

ETFは、主に株式や債券などの有価証券、また金などのコモディティ等に投資を行います。投資対象としている株式等の値動きにより、ETFの基準価額が下落することがあります。有価証券への投資には、価格変動リスク、カントリーリスク、信用リスク、為替リスク等、様々なリスクがあり、ETFにも同様のリスクが伴います。これらのリスク要因により投資資産の市場価格が下落する場合があります。その為、投資元本を割り込む恐れがあります。ETFには上場廃止リスクがあり、純資産規模が縮小するなど、運用が困難になった場合や、上場取引所の上場基準に合致しなくなった場合、上場廃止となることがあります。これらは主なりリスクであり、ETFへの投資に係るリスクはこれらに限定されるものではありません。

#### <ETFの投資にかかる一般的な留意事項>

- ① 元本保証はされていません。
- ② ETFの一口あたりの純資産額と連動を目指す特定の株価指数等が乖離する可能性があります。
- ③ 市場価格とETFの一口あたりの純資産額が乖離する可能性があります。

#### <ETFにかかる手数料・費用について>

ETFを売買する際は、取扱いの金融商品取引業者の定める売買手数料がかかります。その他ETFを保有する際には、それぞれ個別に定められた費用がかかります。これらの費用には、運用会社・管理会社に支払う報酬、組入れ有価証券の売買の際に発生する手数料、監査費用等があります。これらは、運用の状況等によって変動するため、上限を示すことができません。当掲載情報は作成時点のものであり、市場の環境その他の状況等により予告なく変更されることがあります。“SPDR®”は、Standard & Poor’s Financial Services LLC(以下「S&P」)の登録商標であり、ステート・ストリート・コーポレーションがその使用許諾を得ています。また、“Standard & Poor’s®”、“S&P®”、“SPDR®”および“S&P500®”は、S&Pの登録商標であり、ステート・ストリート・コーポレーションがその使用許諾を得ています。S&P またはその関係会社は、ステート・ストリート・コーポレーションまたはその関係会社が提供するいかなる金融商品のスポンサーでもなく、これらの商品の内容に関する保証・販売・宣伝もしていません。またS&P およびその関係会社は、これらの商品への投資の適否に関して、いかなる意見表明もしていません。また、その他のインデックス、登録商標ないしサービスマークに関しては、各会社およびその関係会社に帰属し、ステート・ストリートが特定の目的で使用許諾を得ています。本資料のETFの合法性や適合性について、インデックスあるいは登録商標等の帰属する各会社およびその関係会社は、何ら判断を下していません。また、発行・後援・裏書・販売・宣伝もしていません。インデックスあるいは登録商標等の帰属する各会社およびその関係会社は、ETFに関していかなる保証も責任も負いません。また、ETFの資産運用や販売にしていかなる責任も負わず、管理運営に携わることもありません。

※取得のお申込に当たっては、必ず上場有価証券等書面又はその他の開示書類の内容をご確認の上、ご自身でご判断下さい。

※購入のお申込や売買手数料等につきましては、取扱い金融商品取引業者(証券会社)までお問い合わせ下さい。

本資料の記載内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

※2016年のETFと投資の見通しの原文は、2015年11月18日までの期間に関するSPDR ETFおよびSSGAファンド・リサーチ・チームの見解であり、市場および他の条件等によって変更される場合があります。本資料には将来予測の表明とみなされ得る一定の情報が含まれています。そうした表明は将来の運用成果を保証するものではなく、実際の結果や展開はそうした予想とは大きく異なる可能性があります。

※ 本内容は、投資情報の提供を目的として作成しており、投資の勧誘等や特定の商品の推奨を目的とするものではありません。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

ステート・ストリート 広報部 03-4530-7104 Japan\_Corp\_Comms@jp.statestreet.com

広報窓口(エデルマン・ジャパン) 仲里 03-4360-9000 StateStreetJapan@edelman.com